

お散歩上手になるために【伸び～るリードの使い方】



皆さんの中には、「フレキシブルリード」をお持ちの方も多いと思います。お散歩の時に便利な人気商品ですね。いちいち犬の動きに左右されながら歩かなくても済むし、リードの伸びる範囲で犬は自由に動き回れるし。犬がどんどん先へ先へと行ってしまっても、リードさえ伸ばせば飼い主は急がなくて引っぱられないですみます。でも、ちょっと待って！！そこに大きな落とし穴が…！

リードが長く伸びた状態の時、そこに通行人が来たら？車やバイクが近づいてきたらどうしましょう？フレキシブルリードの操作をあわてずに出来ますか？犬を引っ張って止められますか？呼び戻せますか？本来フレキシブルリードは、広いところで犬を自由に遊ばせたりする為の道具です。

(ノーリードに出来ない状況下、少しでも自由に遊ばせたいという飼い主のニーズに応えた商品)でも、犬に自由を与えた分、普通のリードに比べて犬のコントロールが効かなくなるという欠点があります。

一般の道路には、車やバイク・自転車などの危険がいっぱい！行きかう通行人だって、決して犬好きばかりではありません。たとえ小型犬であっても恐怖を感じてしまう犬が苦手な人達の存在というのも忘れてはなりませんし、通行人が長く伸びたリードに足を引っ掛けてつまづいてしまう場合もあるでしょう。瞬時にしっかりと犬を引き寄せさせることの出来る体勢、短く持ったリードで脚側歩行的お散歩が、やはり一番安心でお勧めです。

また、広い場所で使用される場合でも、他のワンちゃんとじゃれあって遊ぶような場面では、危険が潜んでいることにお気づきの方もおられると思います。動きの激しいワンちゃんだと、長～く伸びた細いリードが犬の脚に絡まって締め付けるようなことにもなってしまいます。皆さん、フレキシブルリードの使い方には十分に注意して、事故の無いようにお使い下さいね！

こんな事故にも要注意！！【エレベーターから飛び出した犬】

9月26日付毎日新聞新聞に下記のようなエレベーター事故の記事がありました。昨今のエレベーター事故といえば、機器と整備の不備が取りざたされていますが、今回の事故原因は、なんと…犬！！だったのです。

「指切断！エレベーターで飼い犬のロープ抜けず」

東京都品川区のビル8階で住人の女性(95)に連れられてエレベーターに乗っていた犬が突然エレベーターから飛び出し、女性は犬のロープを握ったまま中に取り残された。ロープの端が8階フロア側の扉に挟まったまま中のかごが上昇し、女性はロープを握っていた左手の指4本を切断した。犬は首輪から首が抜けて無事だった。警視庁大崎署の調べではロープは麻製で長さは4.6メートル。女性は犬の散歩からビル10階の自宅に帰宅途中で8階で男性一人が降りたところ、犬もつられてエレベーターの外に飛び出した。女性は犬を引き戻そうとしたが、扉は閉まりエレベーターは上昇したという。」

リードにまつわる事故は、こんなに大きなものばかりではありませんが、どこでも起こり得ることなので注意しましょう！

親睦バスツアー

梅雨にはまだ少し早い6月1日(木)恒例のバスツアーを行い都筑会長をはじめ総勢31名が市役所前を8時半に出発しました。

先ず神戸森林植物園に行きましたが、期待の紫陽花の開花にはまだ少し早くて処々のシャクナゲやツツジ、ショウブを鑑賞しながら約1時間、三々五々散策しました。好天に恵まれ、やや汗ばむ位の日射の下、色とりどりの日傘や帽子の花が咲き森林浴をしました。展示館の世界一大きな木の年輪といわれるセコイアオスギに驚き、コカクウツギ(四国産)の香りを嗅いで新しい発見もしました。



三宮で中華バイキングの昼食を賞味した後、神戸空港へ向かい、旅客ターミナルビル内を見学しました。

人気スポットのビル屋上の展望デッキでは海をバックに航空機の発着を眺め、写真撮影をしたりしました。「飛行機がこんなに間近に見える」「乗客や荷物の積みおろしもよくわかった」などと新しい空港でのひとときを満喫しました。

最後に舞子公園の舞子移情閣等見学しました。大正ロマン溢れる孫文記念館内で、孫文と神戸との関



わり等説明して頂き勉強になりました。

こうして一日は瞬く間に過ぎて、全員無事帰省いたしました。親睦を兼ねての県内施設の見学は大変有意義で楽しいツアーでした。

豊福 喜代子